

第6期雄武町総合計画後期基本計画 策定審議会第1回総務・行財政部会 議事録

【日 時】 令和4年10月13日(木) 14:00～16:40

【場 所】 雄武町役場別館 大会議室

【出席者】 中島 克弥 部会長 三浦 健一 部会長代理
田口 洋 部会員 村岡 昌信 部会員 宮本 堅 部会員
(欠席者) 清水 伸一 部会員
(町) 事務局～横田財務企画課長 渡部財務企画課長補佐
樫山企画調整係長 豊田企画調整係

【会議次第】

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 議事
(1) 第6期雄武町総合計画前期基本計画推進状況報告書について
- 4 その他
- 5 閉会

【配付資料】 ・基本施策別担当専門部会一覧
・雄武町地域公共交通等に関する町民アンケート調査報告書

【議事録】

- 1 開会（開会時刻：14時00分）～ 財務企画課長

2 部会長あいさつ

「皆様、大変お忙しい中、おつかれさまでございます。本日は第1回専門部会ということで、前期の基本計画の推進状況について、事務局から説明いただき、今後の方向性などについて意見交換を行う予定と伺っております。皆様のきたんのないご意見をいただきながら、会議を進めていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。」

それでは、さっそく議事に進みたいと思います。事務局から説明願います。」

(以後、中島部会長が司会を進行)

3 議事

(1) 第6期雄武町総合計画前期基本計画推進状況報告書について

事前配付した「第6期雄武町総合計画前期基本計画推進状況報告書」について、基本施策ごとに事務局において読み上げ。

【基本施策 17 消防・救急・防災体制の強化】

(部会員) 10月4日にJアラートが発令された際、小学生は普段どおり元気よく登校していた。どのような行動をすればよいのか分かっていない町民が多数いることから周知を徹底していただきたい。また、職員の参集範囲について確認したい。

(事務局) Jアラートに関して、本町においては住民生活課が事務局の雄武町国民保護協議会を設立しているが、長年会議は開催されていない現状にある。町民に対して現時点では特段周知をしていない。また、職員の体制については、「北朝鮮のミサイル発射を起因とした全国瞬時警報システム(J-ALERT)発動時の職員参集行動」に基づき参集する。なお今回の事案については、ミサイルが本州上空を通過したことから、住民生活課長、住民活動係が参集したものである。

(部会員) Jアラートに関して、北海道は広いことから、北と南に分けるなど発令範囲を分けてほしい。

(部会員) 救急救命士の増員や高規格救急車の整備等、消防の救急・救命に関することはすごく進んでいると思うが、一次救急である国保病院の受入体制についても同時に整備を進めていくべきではないか。

(部会員) 62頁基本施策指標の消防団員数であるが、どのような数字であると認識しているか。

(事務局) 退職する団員に対して、同じ人数が補充できればよいが、現状難しいところで

ある。平成 28 年度実績の 108 人に対して、令和 3 年度実績は 105 人となっており、隊員数は維持できていると思料する。

(部会員) 錦町辺りにおいて、劣化が著しい空き家が多く目立つ。火事になったら大変なことになる。

(事務局) 現在空き家をピックアップしており、特に劣化が著しい住宅については瓦礫が風で飛散しないように網を掛けて対応している。また、「雄武町空家等対策計画」を策定し、空き家の解体について国の補助金を活用するべく制度化を執り進めているところである。

【基本施策 18 防犯・交通安全の推進】

(部会員) 66 頁基本施策指標の「治安の満足度」や「交通安全対策の満足度」について、平成 28 年度実績に対して、令和 3 年度実績がかなり低くなっている。

(事務局) まちづくりアンケートの結果については、具体的な検証、分析はしていないが 1 つの要因として、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントを中止しているなど、日本が不景気になっていることに対する町民の不安が数字に影響しているものだと思料する。

(部会員) 交通死亡事故ゼロが今年 12 月 13 日で 2000 日を達成するところであるが、町内だけではなく、雄武町民が第一原因者となる町外の事故を防ぐような啓発活動を進めていただきたい。昨年 11 月 21 日に興部町で発生した死亡事故については、興部町にとっても申し訳なく思っている。また、町内については新日の出町のセイコーマート付近の交差点を重点的に啓発活動をしてほしい。過去に車両同士の接触事故も発生しており、重大な事故が発生する前に対策をしていただきたい。

(部会員) 特殊詐欺については、高齢者が巻き込まれないように、消費者協会を中止に啓蒙活動をしていただきたい。のぼりを町内金融機関に設置、家の玄関ドアにステッカーを貼るなどの注意喚起も効果的である。

(部会員) 老人クラブ等では興部警察署と協力して注意喚起をしているが、来ていない高齢者が大半であることから、消費者協会においても街頭啓発等の啓蒙活動をしていただきたい。

【基本施策 19 情報通信網の整備・充実】

(部会員) マイナンバーカードの普及状況はどうなっているのか。

(事務局) 本町におけるマイナンバーカードの普及率については、9 月末現在で 41.2% であり遠紋管内では 1 番となっているが、全国平均が 49% で、道内で 46.5%

となっており、全国的にみると低い状況にある。担当課である住民生活課において、町内の事業者や団体への出張窓口や選挙の期日前投票会場において窓口を開くなど、普及率向上に努めている。

(部会員) マイナンバーカードの普及率については、病院や保険証の関係から高齢者が高く、若者は低いように感じる。

(部会員) 68 頁単位施策 1【地域情報化の推進】の現状について、全町民がインターネットを利用した多彩なサービスを利用することが可能となっていると記載されているが、具体的にどのようなことか。

(事務局) 光通信網については、町が町内全域（居住域）に整備し、すべての利用希望者に対して光ブロードバンドサービスが利用できるようになっている。町民等が光回線へ加入することで、通信事業者による様々なサービスが受けられるようになるとの意味合いである。

(部会員) 68 頁基本施策指標の「地域情報化の満足度」について、平成 28 年度実績に比べ、令和 3 年度実績はかなり低くなっている。

(事務局) まちづくりアンケートの結果については、具体的な検証、分析はしていないが 1 つの要因として、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントを中止しているなど、日本が不景気になっていることに対する町民の不安が数字に影響しているものだと思料する。

【基本施策 20 町民主体のまちづくりの推進】

(部会員) 自主防災組織について、現在 4 組織しかない。必要性はわかるが、難易度が高ことから、担当課においてひな形を作してほしい。

(事務局) 昨年度からひな形を作成し、簡略化している。また、担当課である住民生活課において自治会に出向いて説明を行うなど、設置率向上に努めた取り組みを行っている。

【基本施策 21 多様な交流の促進】

(部会員) 単位施策 2「男女共同参画の推進」の主な取組事業がないのはなぜか。

(事務局) 基本施策を達成するために町が取組む具体的な事業が、見当たらなかったためである。

(部会員) 単位施策に「男女共同参画の推進」を取り入れている時点で、男女共同参画に関してレベルが低いように感じる。

(部会員) 交通指導委員については女性が増えてきた。女性一人で行うのは難易度が高く感じる。複数人で参加できるように工夫した方が良いと思われる。

【基本施策 22 効果的・効率的な行政運営】

- (部会員) 町営住宅の空室が最近多い。空室が多くても収入制限があり入居できない人が多数いることから、町営住宅よりも収入制限が緩和されている町有一般住宅の整備をもっと進めてほしい。特に単身者が住める住宅を増やしてほしい。
- (事務局) 町営住宅については、収入制限があることから、入居要件に合致している人でないと入居できない。また、古い町営住宅については、町営住宅よりも収入制限が緩和されている町有一般住宅に用途変更をして管理をしている。
- (部会員) 若手の町職員に係るメンタルヘルスの不調が目立つことから、対策にもっと力を入れてほしい。
- (部会員) スポーツセンターや小中学校については、劣化が著しいことから、町民に対してアンケートを実施し、対応策について方向性を決めていくべきではないか。

4 その他

○今後のスケジュールについて、3つの専門部会を開催したのち、後期基本計画の事務局案を10月中に完成させ、11月上旬に開催予定の審議会にて示す。また、11月中旬に再度専門部会を2回ほど開催し、後期基本計画案の審議を行うとともに、具体的に実施する事業について各担当所管課から説明を行う旨企画調整係長から補足。

○部会員に配付した「雄武町地域公共交通等に関する町民アンケート調査報告書」については、11月に開催する審議会もしくは専門部会において、意見交換を行う旨企画調整係長から補足。

5 閉会（閉会時刻：16時40分）